

マラウイ月報(2014年12月)

主な出来事

【内政】

- 閣僚給与引き上げを延期
- 国会公職任命委員会、一部大使人事を不承認

【外政】

- 日本大使館天皇誕生日祝賀レセプション開催
- 中国マラウイ外交関係樹立7周年

【経済】

- 日本政府によるテザニ水力発電所建設計画支援
- マラウイ投資ポテンシャル事業一覧公表

【内政】

・ 国会公職任命委員会、大使人事を一部不承認

12月4日、国会公職任命委員会は、ブラジル、南ア、エジプト、ドイツなどへ派遣が予定されていた大使人事を不承認とした。委員会はこの理由として、上述4カ国への派遣が予定されていた大使候補者については、ムタリカ大統領の部族であるロムウェ族から選ばれており、また、十分な経歴を有さない旨述べた。(12月5日、ネーション紙2面)

・ 閣僚給与引き上げを延期

12月11日、ゴンドウェ財務経済計画大臣は10月1日付で承認された168%の閣僚給与引き上げの実施延期を内閣が決定した旨発表した。同大臣は、マラウイの経済状況が回復するまで給与引き上げ実施は延期するとし、これにより10億クワチャの歳出削減となる旨述べた。(12月12日、ネーション紙1-2面、デイリータイムズ紙1、3面)

・ 汚職行為防止局職員他公務員がストライキ

12月17日、ムタリカ大統領は汚職行為防止局に対する一時閉鎖命令を撤回した。同局職員は12月8日より賃上げを求めストライキをしており、ムタリカ大統領はこれを受け同局の一時閉鎖を命令したが、17日から職員が勤務を再開したことから命令を撤回した。同局職員は給与の70%増加を求め、政府による10%の給与増加の提案を拒否している。同局以外にも裁判所職員や大学職員など、一部公務員が賃上げストライキを行っている。(12月18日、ネーション紙1-2面)

【外政】

・ 在マラウイ日本国大使館、天皇誕生日祝賀レセプションを開催

12月3日、在マラウイ日本国大使館が天皇誕生日祝賀レセプションを開催し、主賓のゴンド

ウェ財務経済計画大臣の他多数の閣僚が式に参加した。ゴンドウェ大臣はレセプション中のスピーチにて、日マラウイ外交関係樹立50周年を祝しつつ、長年の日本による対マラウイ支援に感謝を示した。(12月5日、デイリータイムズ5面)

- ・ **中国マラウイ外交関係樹立7周年**

12月13日、駐マラウイ中国大使公邸にて中国マラウイの外交関係樹立7周年を祝賀するレセプションが開催された。主賓として同式典に参加したチャボンダ外務国際協力大臣は、中国は両国間の友好を記念して、マラウイ国防軍本部の建設支援を決定したことを発表した。(12月15日、デイリータイムズ紙4面)

【経済】

- ・ **マラウイ政府とWFP、食糧支援開始**

12月17日、マラウイ政府とWFPはマラウイの最脆弱層に対する食料支援を開始した。マラウイ脆弱性評価委員会(MVAC)によれば、2014年12月から翌年の収穫期までに約70万人の国民が食料支援を必要とする。(12月17日、デイリータイムズ紙22面)

- ・ **マラウイ開発協力戦略(2014-2018)の開始**

12月11日、マラウイ政府と各主要ドナー機関は、2014年から2018年の間のマラウイ開発協力戦略を開始した。マラウイ開発協力戦略はマラウイにおける開発協力の質と効果を改善することを目的としており、各ドナーの援助が調整される事が期待される。(12月12日、デイリータイムズ紙3面)

- ・ **日本政府、テザニ水力発電所建設計画支援**

12月3日、在マラウイ日本国大使館主催の天皇誕生日祝賀レセプションの際に西岡大使は、日本政府はテザニ水力発電所建設計画の本体部分支援を実施する方向である旨表明した。右プロジェクトが実施されれば約21.8MWの新たな電力供給が可能となる。(12月15日、デイリータイムズ紙4面)

- ・ **中国、移動式太陽光発電システム支援**

12月19日、中国政府は移動式太陽光発電システム設置のために、約50億クワチャの資金援助を約束した。(12月15日、デイリータイムズ紙4面)

- ・ **マラウイ投資ポテンシャル事業一覧公表**

12月3日、大統領宮殿にてムタリカ大統領は史上初めてマラウイの各セクターにおける投資ポテンシャル事業一覧を公表し、マラウイの経済発展及び貧困削減のためには民間部門の果たす役割が極めて重要である旨、言及した。(12月6日、ウィークエンド紙9-10面、12月9日、デイリータイムズ紙9面)

- ・ **OVOP戦略計画の公式開始**

12月2日, リロングウェ市内のクロスロードホテルにて, ムワナムヴェカ産業貿易大臣, 西岡大使, 徳橋JICA所長出席の下, OVOP(一村一品運動)戦略計画の公式開始式が行われた。OVOPはもともと1970年代に日本の大分県で村落振興活動のために開始されたもので, JICAはマラウイのOVOP運動に技術支援を行っている。(12月13日, ウィークエンド紙13面)

- ・ **ビィ・フォアード社, サッカーチームのスポンサーへ**

12月12日, 日本の中古車販売会社であるビィ・フォアード社はマラウイのサッカーチームであるマイティ・ワンダラーズとスポンサー契約を締結した。これにより, 同チームはチーム名をビィ・フォアード・ワンダラーズに改め, 活動を行う。(12月13日, マラウイニュース紙20面)

(了)